教師用の目次へ

作文の友

～書くこと 大好き～

6

目　次

1 表現をくふうして書こう(詩)……2
・いろいろな表現のくふうを知り、表現の効果を考えて書きましょう

2 いざというときのために……9
・論の進め方をくふうして書きましょう

3 六年生の本だな……15
・読書感想文を書きましょう

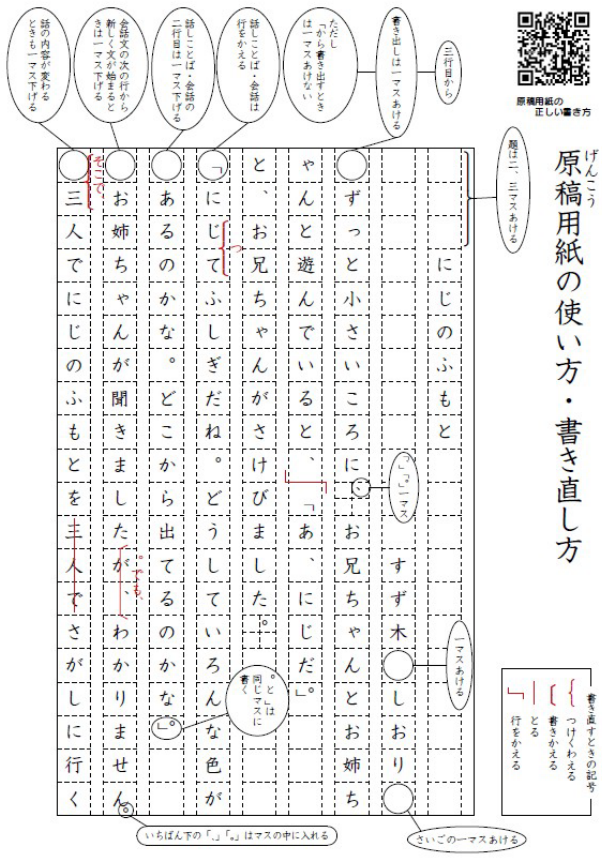
4 心の動きを俳句で表そう……22
・表現をくふうして俳句を作りましょう

5 発信しよう、私たちのSDGs 27
・相手や目的に応じて情報を発信しましょう

〈 表紙　丸地　宏直先生 〉

原稿用紙の正しい書き方

原稿用紙の使い方・書き直し方



二　材料を集めよう。

生活の中で気づいたこと、季節を感じた出来事から、俳句の材料を集めましょう。現在の季節から連想して、思いうかぶ言葉や出来事を書き出してもよいでしょう。

季節を感じたときを思い出してみましょう。

三　俳句を作ろう。

俳句には、季語と呼ばれる季節を表す言葉が入ります。季語を一つ入れて作ってみましょう。

そのときの発見や感動が読む人に伝わるように、表現をくふうしましょう。「きれいだな」「うれしいな」「楽しいな」といった気持ちを表す言葉を使わずに、自分が心ひかれたものを何かにたとえてみたり、ふさわしい言葉を探したりして表現してみましょう。

(1) 季節の言葉を集めましょう。

(2) 三の(1)から、見えたもの、聞こえた音、ただよっていたかおり、ふれた感覚、口に広がった味などをよく思い出して、五・七・五で表してみましょう。

五	七	五

※リズムがあれば、字数にこだわらなくてもよい。

心の動きを俳句で表そう

○表現をくふうして俳句を作りましょう

俳句は日本で古くから作られてきた五・七・五の十七音からなる短い詩です。季節感を表す「季語」を入れて作ります。

今までに、どんな俳句を読んだことがありますか。また、俳句を作ったことはありますか。季節を感じた出来事などを十七音のリズムで伝えてみましょう。

一　それぞれの俳句を読んで、思いうかんだ情景や、おもしろいと思ったところを友達と伝え合おう。

《児童の作品》

風ふいて　道路いちめん　桜色　　柴田　一希
〈季語…桜　季節…春〉

電線に　音符を描く　つばめたち　　後藤なつ美
〈季語…つばめ　季節…夏〉

赤とんぼ　野球のノック　見に来てる　　川上　翼
〈季語…赤とんぼ　季節…秋〉

初もうで　人におされて　願い事　　吉中　菜穂
〈季語…初もうで　季節…冬〉